

令和8年度水戸市立稲荷第二小学校グランドデザイン



〈茨城県教育目標〉

ひとりひとりの能力を開発し 豊かな人間性をつちかう じょうぶな身体をつくり たくましい心を養う 郷土を愛し 協力しあう心を育てる

〈水戸市教育目標〉

知性にと、心身ともに健全な風格をそなえた人間（水戸人）の形成につとめる

〈学校教育目標〉 役に立つ喜びを知る子の育成

目指す児童の姿	・人の役に立とうとする子 ・自分の考えや気持ちをしっかりと伝える子 ・安全で安心する学校をベースにした、一人一人が主役になれる学校	・自分から元気にあいさつする子 ・自分で考え、行動し、チャレンジしようとする子	・お互いを認め合ったり、助け合ったりできる子
目指す学校の姿			
目指す教師の姿	・子ども一人一人に寄り添い、自信をつけさせる教師 ⇒そのため、常に授業改善に協働で取り組み、 学び続ける 教師		



〈学校組織目標〉

小さな成功体験での自信をもとに、可能性（よさ）に気づき、役に立とうとする児童を育てる
～ポジティブなマインドで、自分と子どもたちの可能性を信じていこう！～

【学校経営の重点】学級経営にファシリテーションを取り入れ日常的に展開することで、良好なコミュニケーションによる安心感をベースに、高まった「対話」と「合意形成」の力を、日々の学校生活に生かすことができる



豊かな心づくりプロジェクト

- 自分の良さを知り、良さを活かして、役に立とうとする児童の育成
- ・ファシリテーションタイム、まごころタイムの充実
- ・3つの「あ」（あいさつ・ありがとう・あとしまつ）
- ・自己肯定感を育む「キラキラカード」での賞賛
- ・いなり班（異学年交流）活動の充実

学力向上プロジェクト

- 基礎的・基本的な知識や技能を身に付けることができる児童の育成
- ・学び合いの充実
- ・柔軟な教育課程編成によるアップタイム（モジュール学習）等の設定と研修時間の確保
- ・学校図書館の改善及び読書活動の推進

健やかな体づくりプロジェクト

- 健康な体づくりや安全な生活のために主体的に取り組む児童の育成
- ・基本的な生活習慣の確立
- ・「いかに体力アップ計画」の推進
- ・安全教育の充実（避難訓練・防災教室）

特色ある学校づくり



- ・多様な子ども一人一人の可能性や活躍の場を引き出す集団づくり
- ・子どもの考えを「つなぐ」・授業を「共に創る」——「主体的・対話的で深い学び」の具現化
- ・柔軟な教育課程編成によるアップタイムを通した基礎的・基本的な知識及び技能の定着

1 ファシリテーション力育成プログラムの推進

- 児童一人ひとりの対人関係スキルと合意形成スキルを育てることで、自治の力を高める
- ・教師／学級経営の中で、児童が対人関係スキルと合意形成スキルを高める指導力を身に付けることができる
- ・児童／「広げ・深め・共有する対話」と「合意形成」の技法を身に付け、学級の生活に生かすことができる
- ファシリテーションタイムの導入、授業等でのファシリテーションを活用した授業の実践

2 体験活動の充実

- 校内畑を活用した全校児童による作物栽培 ・プログラミング体験 ・福祉体験 ・木戸房池環境保全（地域NPO団体との連携）
- 遠隔地の児童とのオンライン交流

3 地域との連携による魅力ある学校づくりの実現

- 稲荷第二市民センターの協力による、稲荷二小応援団（学校の運営に必要な支援について協働して下さる地域の方々や団体）と連携した教育活動の充実
- ・地域NPO団体等と連携した「まごころタイム（環境保全、水戸の歴史、福祉体験）」、習字指導補助、環境整備
- 地域の民間企業と連携した社会に開かれた教育活動の充実（POPづくりと展示）



小中連携	保護者との連携	地域との連携	働き方改革の推進	コンプライアンス遵守
○小中一貫教育の推進 ・中学校区3小学校及び常澄中学校との連携強化 ・小中連携カリキュラムづくり（異学年交流機会の創出）	○OPTA 活動の推進 ・スクールボランティア（保護者）との連携強化 ・PTA 活動の周知と理解協力 ・学校行事への積極的な参画	○コミュニティスクールの推進 ・学校運営協議会での熟議の推進 ○稲荷二小応援団との連携 ・稲荷第二市民センターとの連携 ○地域の企業との連携 ・学校図書館の充実・改善	○一人一人に合った働き方改革 ・月2回の定時退勤日の設定 ・時間外在校等時間削減の推進 ・年次及び特別休暇取得の推進	○教職員の服務規律の徹底 ・未然防止に向けたコンプライアンス研修の実施（毎月1回） ・同僚性の高い職場環境づくり